

一般廃棄物最終処分場の敷地面積について

令和7年1月21日（水）

敷地面積の確保は土地の形状、用地買収、地元住民との協議により一概に一言では表せない。

よって過去の実績及び想定で判断したいと思います。

添付資料を参照

① 20,000 m³の場合

深さ 10mとして、面積は 2,000 m²となり、過去のデータより浸出水処理施設の処理量は平均で 12 m³/日

② 25,000 m³の場合

深さ 10mとして、面積は 2,500 m²となり、過去のデータより浸出水処理施設の処理量は平均で 10.5 m³/日≒11 m³/日

③ 30,000 m³の場合

深さ 10mとして、面積は 3,000 m²となり、過去のデータより浸出水処理施設の処理量は平均で 11 m³/日

※無放流と下水放流としてもほぼかわらないと考えます。

浸出水処理施設は施設フローにより敷地面積はかわるが 10 m³/日前後であれば面積は約 300 m²となる。ただし流量調整槽は含まないものとする。

処理量としては過大な面積ではあるが工事のことを考えると最低 300 m²は必要

浸出水処理施設に必要な流量調整槽は約 800 m²

管理棟は約 300 m²

調整池・・・地形によるが 1,500 m²と仮定する。

【必要となる面積】

埋立施設＋浸出水処理施設＋流量調整槽＋管理棟＋調整池

- | | |
|---|---------------------------|
| ① $2,000 \text{ m}^2 + 300 \text{ m}^2 + 800 \text{ m}^2 + 300 \text{ m}^2 + 1,500 \text{ m}^2 = 4,900 \text{ m}^2$ | 必要面積 $14,700 \text{ m}^2$ |
| ② $2,500 \text{ m}^2 + 300 \text{ m}^2 + 800 \text{ m}^2 + 300 \text{ m}^2 + 1,500 \text{ m}^2 = 5,400 \text{ m}^2$ | 必要面積 $16,200 \text{ m}^2$ |
| ③ $3,000 \text{ m}^2 + 300 \text{ m}^2 + 800 \text{ m}^2 + 300 \text{ m}^2 + 1,500 \text{ m}^2 = 5,900 \text{ m}^2$ | 必要面積 $17,700 \text{ m}^2$ |

施設の面積、工事をするための面積、機材置き場、駐車スペース等を考えると最低でも用意しなければいけない面積は敷地面積の3倍必要と思われます。

あくまで実績と推測での数字です実際の用地がわかればもう少し精度の高い数字が出せるかもしれません。

(参考)

(1) W市の一般廃棄物最終処分場（クローズド型）

- ・埋立面積 約 $20,000 \text{ m}^2$
 - ・浸出水処理施設（管理棟含む） 約 $10,000 \text{ m}^2$
 - ・覆土仮置き場 約 $25,000 \text{ m}^2$
- 合計約 $55,000 \text{ m}^2$

全体面積（流域面積）が $100,000 \text{ m}^2$ なので残りの $45,000 \text{ m}^2$ で切土盛土、防災調整池に利用している

(2) T市の一般廃棄物最終処分場（クローズド型）

- ・埋立面積 約 $13,700 \text{ m}^2$
- ・浸出水処理施設 $21 \text{ m}^3/\text{日}$
- ・施設総面積 約 $33,000 \text{ m}^2$
- ・事業面積（敷地面積）約 6 ha

(3) O郡組合の一般廃棄物最終処分場（オープン型）

- ・埋立面積 $7,300 \text{ m}^2$
- ・浸出水所施設 250 m^2 流量調整槽（屋外） 350 m^2
- ・全体敷地面積 $17,000 \text{ m}^2$